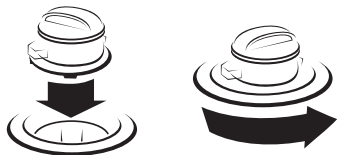
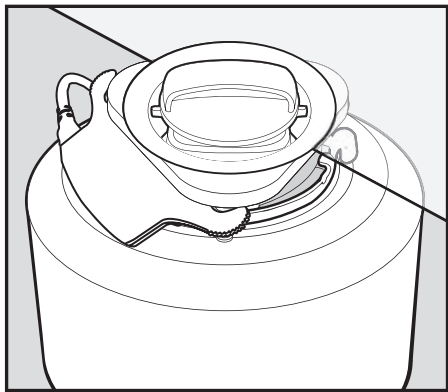
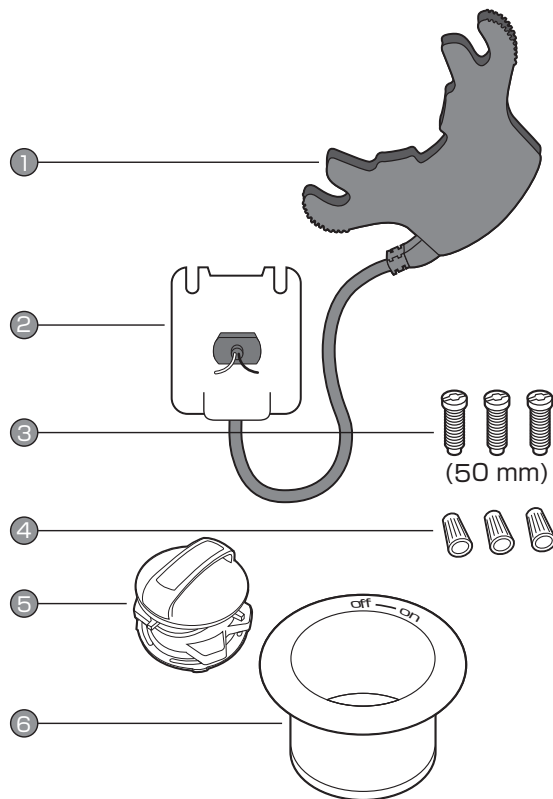


ふたスイッチキット CCK-105取付説明書
AC105 施工説明書とともに使用のこと



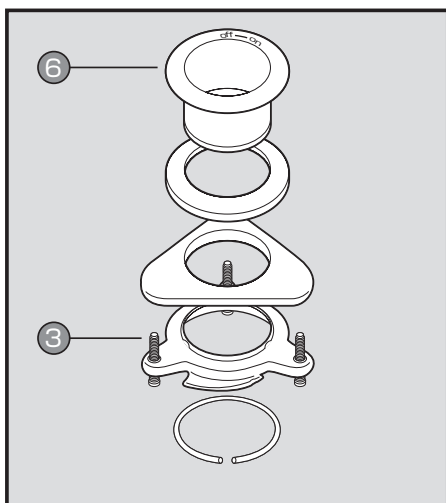
77533 Rev.A



このキットに含まれるパーツ

1. ふたスイッチ検知装置
2. カバープレート
3. ネジ (50mm) 3本
4. ワイヤナット 3本
5. ふたスイッチ
6. シンクアダプタ

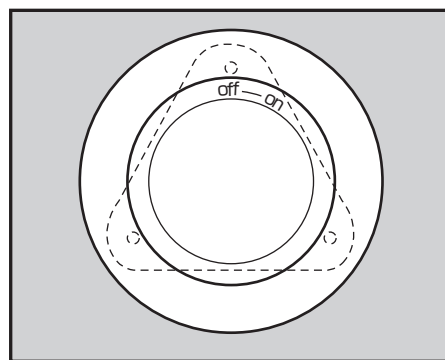
1



1.1

1. AC105 のシンクフランジを、ディスプレイから取り外し、AC105 施工説明書 9、11 ページの指示に従って分解します。
2. 分解したシンクフランジの部品の内、ふたスイッチキットに同梱のシンクアダプタ (⑥) と 50mm ネジ (③) を入れ替えます。

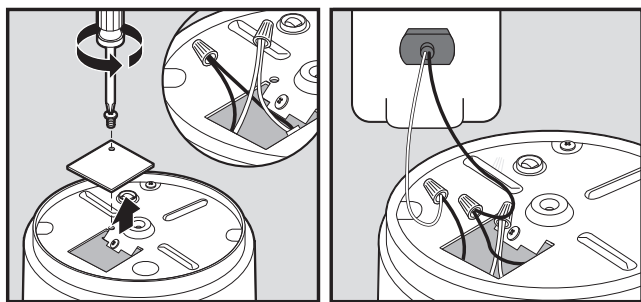
2



2.1

1. 新しいシンクアダプタを、上に図示されている向きに取り付けます。「off」が12時の位置になっていれば、正しい向きです (2.1)。
2. バックアップフランジの向きを確認します。ネジが「off」の位置と合っていれば、正しい向きです (2.1)。
3. 図 2.1 の向きに注意し、詳しくは AC105 施工説明書 9～10、11～12 ページの指示に従って、シンクフランジのシンクへの取り付け作業を進めます。

3

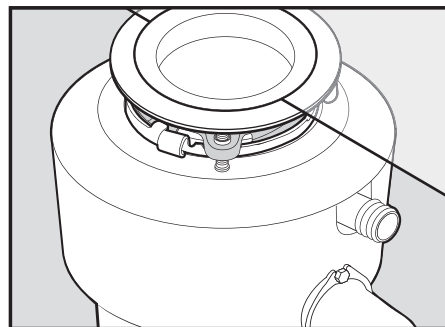


3.1

3.2

1. 電源を切った状態で電源線の接続をしてください。3.1 の図のように底板の電源カバープレートを外します。カバーは不要ですが取り外したネジは後ほど使います。
2. カバー内部に収まっている電源線を引き出してください。ひとつは 2 本の黒線が連結されており、もう一方は 2 本の白線が白黒線が繋がっております。カバーコントロールの検知スイッチとの結線はこの 2 本の黒線の方を使います。(3.1 図)
3. 2 本の黒線を外し各々約 9.5mm 程度線の被覆を剥いてください。
4. カバーコントロールの検知スイッチから出ている黒線と赤線を ディスポーザ側からの 2 本の黒線にそれぞれ繋ぎます(3.2 図)。線を結線する際には同梱のワイヤナット(④)をお使い下さい。
5. 絶縁テープ等で絶縁処理を行い、ディスポーザの底板の中に収めてください。その際、内部にある絶縁用ダンボールは取らないでください。
6. 1 の作業で取外したネジを使ってカバープレート(②)をディスポーザの底部分に取り付けてください。

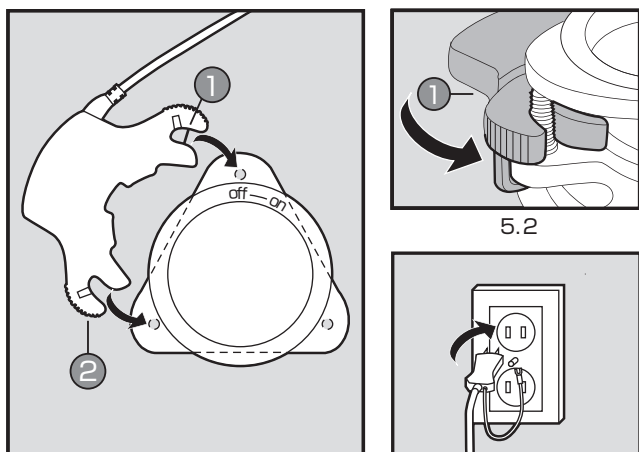
4



4.1

1. AC105 施工説明書 13 ~ 17 ページの指示に従い、ディスポーザの取り付け作業を進めます。

5

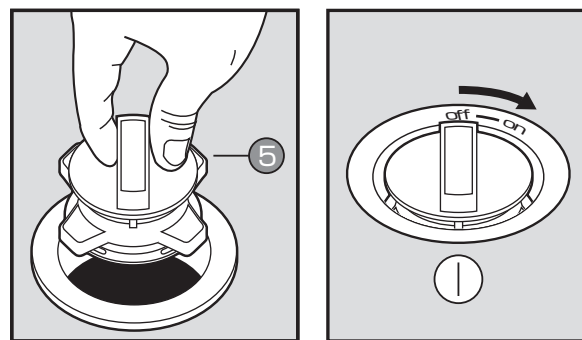


5.1

5.3

1. シンクの下からふたスイッチ検知装置を、12 時と 8 時の位置にあるネジに取り付けます(5.1)。最初にテンションピン(①)を 12 時のネジに押し当ててもう一方のフック(②)を 8 時の位置のネジにはめます。この時、検知装置の下部に付いている 2 ヶ所のツメを取り付けリングの下に掛けてください(5.2)。
2. ディスポーザのアース線を壁コンセントのアース端子に接続し、ディスポーザの電源プラグを壁コンセントにそれぞれ差し込みます。

6



6.1

6.2

1. ふたスイッチ(⑤)は、ハンドルが「off」の文字に向くように投入口に入れます。上下はどちらでも構いません。
2. ふたスイッチ(⑤)を「on」にすると、ディスポーザは運転を開始します(6.2)。
3. ふたスイッチ(⑤)を「off」にすると、ディスポーザは運転を停止します。